

谷元フスマ工飾 株式会社

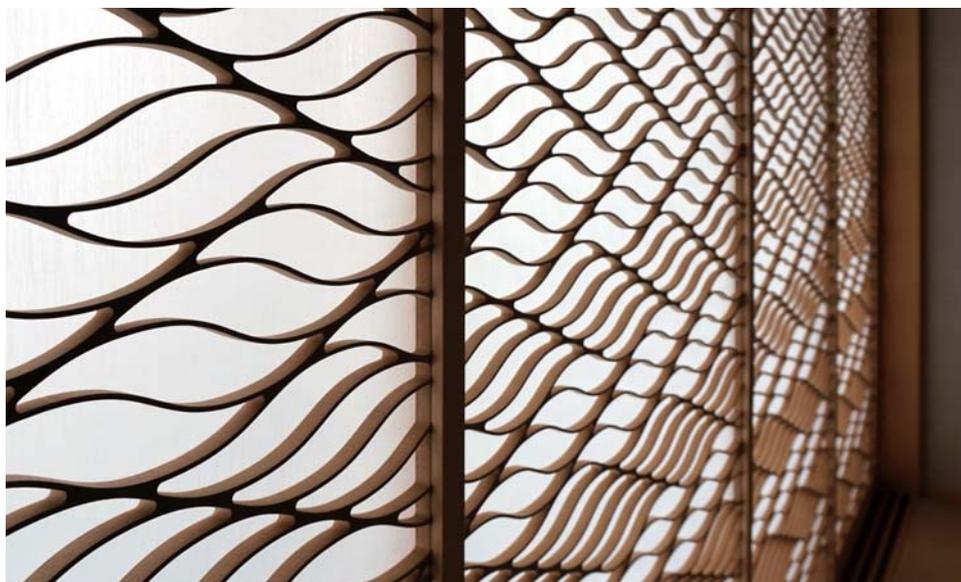
間仕切りで

新たな空間価値を創造する

納期相談

企画力自信有

メイドインジャパン



モダンな障子「数寄戸」

主な事業内容

木製建具やふすまなど、
間仕切りの製造・販売・施工

主な取引先(納入先)

大手ゼネコン、
大手ホームセンター

主な製品

木製建具、ふすま、引手、
アルミ製間仕切りなど

業務内容

老舗メーカーとして
多様な間仕切りを提供

木製建具やふすまなどを製造し、施工まで手がける。初代社長の谷元富造氏が「谷元表具店」として創業。その後2代目社長の谷元一男氏が建具業にも進出した。現社長で3代目の谷元亨氏は平成20年からインターネット事業を開始、これにより、リフォームやDIYの市場の拡大に成功した。

少子高齢化により特に新築和室の施工が減少することを見据え、量を追う仕事よりも、おしゃれでこだわりのある間仕切りの提供に力を入れている。間仕切りは既存の枠を利用して施工できるフルオーダーでも受注しており、リフォーム業者からも好評だ。

また、大型インクジェットプリンタの導入により、社はさまざまな意匠のふすまを製造できる。近年はインパクト需要の増加から、宿泊施設向けに風神雷神など日本風のデザインを施したふすまが人気だという。

強み

インターネット販売でも
細やかなサービスを提供

同社が実施するインターネット販売は、顧客自ら採寸したサイズをもとに、

独品

デザイン性の高い引手が
空間全体のアクセントに

既存の間仕切り枠に合う間仕切りを製造するオーダーメイド方式だ。測り方を動画でわかりやすく紹介するほか、簡単に施工できるようにアジャスターをつけるなどの工夫を行っている。長年にわたり建具の施工を手がけてきたノウハウを生かし、顧客が気づいていない不良につながりそうな点を考慮してサイズ決定を行うなど、製造開始までの顧客とのやりとりを大切にしている。

同社では、平成24年からデザイン性の高い「華引手」を提供している。ふすま紙と引手の組み合わせにより、そのデザインは常時700種類にも多い。現代では和室がない住宅も多いため、洋室にも合うデザインを目指し製品化された。小さくて鮮やかな華引手は、ふすまだけでなく空間全体のアクセントになるため、旅館や個人宅のデザインにこだわった和室向けに人気で、30〜40代の若い年代に好評だ。製品のデザインは自社で行っており、プロのインテリアコーディネーターのファンも多く、谷元社長は「こだわりのある人に本当に欲しいものを提供したい」と語る。

社長あいさつ



代表取締役

谷元 亨さん

間仕切りによる空間価値の向上を、柔軟な対応力で実現します。最新の技術を取り入れた和モダン間仕切りなど、さまざまなアイデアで製品を作ることができます。その結果、お客様をはじめとして関係する全ての方々と「ありがとう」を交換できる会社になりたいと願っています。

主な保有設備

- パネルソー
4×8尺 2機
- ランニングソー
L=5,000mm 2機
- プレス機
4型サイズ 2機
- フラットベッド型
UVインクジェットプリンタ
A3サイズ用 1機
- ロール型UVインクジェットプリンタ
W1,600mm 1機

大阪01

住所 / 〒581-0815
八尾市
宮町4-1-15

T E L / 072-998-8661
F A X / 072-999-6365

創業 / 昭和21年9月
設立 / 昭和45年8月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 43名



ふすま用「華引手」



古い和室のリフォーム事例



<https://t-f-kosyoku.com/>